

平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会社名 常磐開発株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐川 藤介  
 (JASDAQ・コード番号 1782)  
 問合せ先 常務取締役管理本部長 榊原 清隆  
 TEL. 0246-72-1111

### 平成 23 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 22 年 11 月 8 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績予想及び平成 23 年 3 月 24 日付「東北地方太平洋沖地震の影響及び平成 23 年 3 月期配当予想修正に関するお知らせ」にて公表した期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 12,000	百万円 100	百万円 60	百万円 40	円 錢 5.10
今回予想 (B)	10,600	100	60	△390	△49.69
増減額 (B-A)	△1,400	—	—	△430	—
増減率 (%)	△11.7	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	12,058	97	62	22	2.82

#### 2. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 7,700	百万円 60	百万円 30	百万円 20	円 錢 2.55
今回予想 (B)	6,400	80	60	△375	△47.78
増減額 (B-A)	△1,300	20	30	△395	—
増減率 (%)	△16.9	33.3	100.0	—	—
(参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	7,736	70	41	14	1.88

### 3. 修正の理由

#### ①連結

##### (売上高)

当社グループと関係の深い建設業界におきましては、更なる建設投資の縮小と競争激化の中で、引き続き厳しい受注環境で推移いたしました。また、3月11日発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」の影響により、工事の中断等によって完成予定の物件、工事進行基準による完成予定の進捗率が予定を大きく下回る見込みであります。

このような厳しい経営環境の中、売上高につきましては、個別の修正理由に加え、連結子会社の建築事業において、震災の影響による工事の進捗の遅れにより、1億円の減少を見込んでおります。

この結果、売上高は106億円（前回発表予想比11.7%減）となる見込みであります。

##### (利益)

利益につきましては、連結子会社の売上高の減少の影響による減少要因がありますが、個別の修正理由により営業利益、経常利益の予想数値に変更はありませんが、本日開示いたしました「平成23年3月期の有価証券評価損に関するお知らせ」の通り、投資有価証券の評価損を特別損失に計上することにより、当期純損失3億90百万円（前回発表予想値 当期純利益40百万円）となる見込みであります。

#### ②個別

##### (売上高)

建築事業につきましては、厳しい受注環境の中、大型受注物件の失注により4億円の減少、取引先からの発注時期の見直しにより2億円の減少及び震災の影響による工事の進捗の遅れにより3億円の減少となり、9億円の減少を見込んでおります

土木緑地事業につきましては、官庁工事において最低制限価格の見直しにより受注高の増加がありました、当初予定物件の失注により1億50百万円の減少、震災の影響による工事の進捗の遅れにより、1億50百万円の減少となり、3億円の減少を見込んでおります。

環境関連事業につきましては、予定通り推移しておりますが、震災の影響により1億円の減少を見込んでおります。

この結果、売上高は64億円（前回発表予想比16.9%減）となる見込みであります。

##### (利益)

利益につきましては、売上高の減少の影響による減少要因がありますが、土木緑地事業において、官庁工事の最低制限価格の見直しによる受注額の増加、社内全部署において徹底した経費の見直しと削減を進めてきた結果、営業利益80百万円（前回発表予想比33.3%増）、経常利益60百万円（前回発表予想比100%増）、また、本日開示いたしました「平成23年3月期の有価証券評価損に関するお知らせ」の通り、投資有価証券の評価損を特別損失に計上することにより、当期純損失3億75百万円（前回発表予想値 当期純利益20百万円）となる見込みであります。

### 4. 配当予想の修正

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成23年3月24日発表)	円 錢 —	円 錢 未 定	円 錢 未 定
今回修正予想	—	0. 00	0. 00
当期実績	0. 00		
前期(平成22年3月期)実績	0. 00	3. 00	3. 00

## 5. 配当予想の修正理由

当社は、株主への利益還元を経営の最重要政策のひとつと認識しており、経営資源の効率的運用と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主に安定した利益配当を維持し、配当性向30%を目安に業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成23年3月11日に発生をいたしました「東北地方太平洋沖地震」の影響により、株式市況が低迷したことから、個別の利益の修正理由により、会社法で定められております配当可能限度額の減少が見込まれます。また、現在、全社員一丸となって東北地方太平洋沖地震に伴う地元いわき市を中心とした被災地の災害復旧作業に取り組んでいるところでありますので、今後の業績動向につきましても、先行きが不透明な状況にあります。

したがいまして、これまで「未定」としておりました平成23年3月期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 今回の業績予想については、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以上